

# 議会活性化 特別委員会会議録

令和7年11月21日(金)午後1時30分  
小美玉市役所 3階 議会委員会室

小美玉市議会

# 議会活性化特別委員会

日 時：令和7年11月21日（金）

午後1時30分から

場 所：3F 議会委員会室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 協議事項

1) 議会報告会（意見交換会）について

2) その他

4 閉 会

### 出席議員（10名）

- |     |            |     |            |
|-----|------------|-----|------------|
| 1番  | 鬼田岳哉君      | 2番  | 宮内勇二君      |
| 3番  | 戸田大我君      | 4番  | 内田和彦君      |
| 5番  | 山崎晴生君      | 6番  | 真家功君（副委員長） |
| 7番  | 香取憲一君      | 10番 | 鈴木俊一君      |
| 11番 | 村田春樹君（委員長） | 13番 | 谷仲和雄君      |
| 14番 | 長島幸男君（議長）  |     |            |

### 欠席議員（なし）

---

◇

#### 議会事務局職員出席者

- |    |        |
|----|--------|
| 局長 | 佐川光    |
| 次長 | 須賀田千恵子 |

午後 1時30分 開会

### ◎開議の宣告

○副委員長（真家 功君） 皆さま、改めましてこんにちは。

ただいまから、議会活性化特別委員会を開会いたします。

まず、村田委員長挨拶をお願いします。

○委員長（村田春樹君） 皆さま、こんにちは。

お忙しい中、議会活性化特別委員会にご参集いただきまして、誠にありがとうございます。

本日は、市民との議会意見交換会の報告書（案）として出しておりますものを、しっかりと皆さまと一緒にまとめていき、しっかり報告書として出せればと思っております。

また、前回の委員会の際に、その他のときに、今後進めて行く議会にとって必要なものを1ヶ月皆さんに考えてきてほしいということでお話させていただきましたので、是非そのことに関しましてもご意見いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

○副委員長（真家 功君） ありがとうございます。

それでは、議事に入ります。

協議の進行については、村田委員長よろしくをお願いします。



### ◎協議事項

#### 1. 議会報告会(意見交換会)について

○委員長（村田春樹君） それでは早速議事に入ります。

1番の協議事項、議会報告会（意見交換会）についてを議題といたします。

市民と議員の意見交換会回答一覧について、皆さん見ていただければと思います。

この中で、ナンバー1から19まであるんですけども、各テーブルの回答を見ていただけたのかと思うのですが、この中で全て報告書として掲載するのか、それともこの中の一部を載せていくのかというところで、内容の確認をしながらやっていきたいと思っております。

ナンバー1のほうなんですけれども、質問内容として、イベント：インターネットのオフ会を実施できないかというところなんですけど、回答としてこのような回答となっております。

そのような形でAテーブルの場合は、ナンバー1と2の質問内容になるんですけども、どちらも載せるような形でよろしいでしょうか。

[「はい」の声あり]

○委員長（村田春樹君） では、そういったことで、1と2のほう載せていくということで、進めていきたいと思います。

回答のほうも、このような形で大丈夫ですか。

鈴木委員。

○10番（鈴木俊一君） 回答が、質問内容と、インターネットでオフ会実施できないかと言っているかできないかだから、これちょっと回答としてどうかなと思って、どうでしょう。研究に努めますって。

○副委員長（真家 功君） できないと言っているんだよな。

○10番（鈴木俊一君） そうですよ。できないと通じれば大丈夫です。

○副委員長（真家 功君） でも、なんか質問したほうにすればストレス溜まるな。

○委員長（村田春樹君） そしたら例えば1番のほうを、報告書のほうに載せないということも可能ではあるんですけども、どうします。

○10番（鈴木俊一君） 載せたほうがいい。

○委員長（村田春樹君） 一応載せるということで。

○10番（鈴木俊一君） では、これでいきましょう。

○副委員長（真家 功君） 言いづらいよな。

○委員長（村田春樹君） 次に、Bテーブルですが、ナンバー3、4、5、6ですね。

妊娠期からの様々な相談体制を確立してほしい。出産祝い金等の更なる充実をしてほしい。出産（緊急時）の移動費の補助、子育て支援金の創設、充実ということで、だいぶ中傷的な質問、内容的も抜粋してあるので、回答としてはどうでしょうか。

ナンバー5について、先ほど事務局の須賀田次長にお伝えしたとおり、一部これについてはやっているけど、陣痛タクシーについては小美玉市では行っていないという文言を一言付け加えていただければなと思いますので、よろしくお願いします。

○議会事務局次長（須賀田千恵子君） はい。

○委員長（村田春樹君） そのほか皆さん大丈夫ですか。

香取委員。

○7番（香取憲一君） わたしこの妊娠、出産のテーブルにつかせていただいたんですけども、この3番の子ども家庭センターとしての回答は、これはこれでいいと思うんですけど、わたし後ほど直接行って投げしてみようと思うのですが、生涯学習課の社会教育主事の三澤先生のほうで子育てサポーターズ、実際意見交換会にお二人来ていただきましたけども、サポータ

ーズの皆さんは、妊娠、出産だけではなく幅広く子育てでいろんな相談を非常にフランクに受けて、非常に県のほうに行って発表会とかでもすごく先進事例になるぐらいの方々なので、そういうのも所管は子ども家庭センターなのでこちらですけど、ふかして三澤先生に聞いてみて、こういう回答でサポーターズの方も気軽に相談できますよということを投げて聞いてみようかなと思いますので、どうかと思います。

○委員長（村田春樹君） わかりました。そうしたら、12月の定例初日のほうの全協には報告書として出したいので、その前に事務局のほうにお伝えいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

○7番（香取憲一君） わかりました。

○委員長（村田春樹君） そのほかBテーブルのほう大丈夫ですか。

これ全部載せるような形でよろしいでしょうか

[「はい」の声あり]

○委員長（村田春樹君） それでは、Cテーブルのほう、ナンバー7、8、9、10ですかね。

3歳未満の保育料無償化にしてほしい。気軽に相談できる場所をつくってほしい。1歳半、3歳児検診の強化。3歳児、5歳児検診の導入ということなんですけども、このような回答でよろしいでしょうか。

Cテーブルは内田委員、このような形でよろしいですか。

○4番（内田和彦君） はい。

○委員長（村田春樹君） 質問としても、これ全部載せるような形でよろしいですか。

○4番（内田和彦君） はい。

○委員長（村田春樹君） わかりました。

それでは次に、Dテーブル、11、12、13ですかね。災害時の連絡網を作成してほしい。通学路の整備（インフラ整備・草刈り等）、防犯に対する教育の充実ということなんですけども、回答のほうこちらでよろしいでしょうか。

戸田委員。

○3番（戸田大我君） まず、2点あるんですけど、災害時の連絡網というのは、そのとき言っていたのは、地域が大規模停電になってしまって、学校に連絡しても電話が繋がらない、それから学校からも一斉メールできないじゃないですか、そういったとき子どもがどうなっている状況なのかわからないから迎えに行こうにも行けないとか、そういった働いている、自宅にいたら迎えに行けばいいんですけど、勤務先だったらどうしたらいいのか、例えば自

分の親に言って迎えに行ってもらえない、そういうことだから、何か携帯電話でも、緊急の携帯電話でも持たせてもらえると有難いんだという話があったんです。

だからこの回答だと、違いますよね。だからこれはちょっとなんとも言えない、まず1点がそれで、わたしとしては、これは議会の報告書みたいな形でどこかに出すんですよね、ネットとかに出すんですか。この回答は議会としてこれでいいよということじゃないですよ。基本的に担当課の回答だから、議員としてはここから掘り下げていきますよということですよ。

**○委員長（村田春樹君）** 前回の委員会のお話させていただきましたけども、1月には今回出した回答をして全部議会のほうで取りまとめをしたあとに、1月に執行部のほうに提案するというので。議事録のほうに載っていますので。

**○3番（戸田大我君）** じゃ、このまま市民の目に触れるわけではないですよ。

**○委員長（村田春樹君）** 回答としては、報告書として。

**○3番（戸田大我君）** だけど市民には残念な話になってしまいますね。

こういうのは直す、全部残念な回答しかない。

**○委員長（村田春樹君）** 一応、皆さんのほうに前回の議事録にも載っていると思うのですが、回答のほうが出てきてこれじゃないと思ったときには、執行部のほうに行ってほしいという話をさせていただきました。

今回、回答のほうを皆さんのほうに提示させてもらって今確認をしている段階なので、もし戸田委員のほうで今のような話があったとしたら、先ほど香取委員にも言いましたけれども、12月の最初の定例会のほうには報告書として作成させていただきたいと思いますので、各担当課のほうに行って、今の想いを是非とも伝えていただいて、その回答を引き出していただければと思いますので、それでよろしいですか。

**○3番（戸田大我君）** おっしゃる意味はわかるんですが、例えば12番の教育指導課の回答で、具体的な危険個所がありましたらまず学校にご連絡くださいとあるじゃないですか、これやっていたらなかなか進まないと思うんですよ。議員側から直接話をしてお願いしますとやったほうが効果があると思うんです。議員としてこれを報告書としてあげちゃうと、教育指導課としてはもうこの回答が限界だと思うんです。けどこちら側としてはここから議員としては働きますよということではできると思うので、そののところがもう少しわかるようなどこかに何かないとダメかなということですよ。

よろしくお願いします。

○委員長（村田春樹君） 取り敢えず戸田委員のほうで、納得いかないところの回答について、各課のほうに行って、調整していただければと思います。

○3番（戸田大我君） はい。

○委員長（村田春樹君） それで、11、12、13、Dテーブルのほう、この3問載せるということで、よろしいでしょうか。

[「はい」の声あり]

○委員長（村田春樹君） 次に、Eテーブルのほうで、ナンバー14、15、16ですかね。

ゲリラ豪雨、停電時の学校との連絡体制。学校行事で給食を食べる機会を（保護者）、キャリアプラン（将来設計）ということであるんですけども、回答のほうEテーブルの方どうでしょうか。

鬼田委員。

○1番（鬼田岳哉君） テニオファーレベルであったりとか、例えば、前回お休みして申し訳なかったんですけど、内容としてはいいんですけど、こういうふうに伝えたらいいじゃんというのも各課に行ったほうがいい感じですかね。

○委員長（村田春樹君） そうですね。

○1番（鬼田岳哉君） 15番の例えば給食食べる機会は、PTA 行事で親子給食がありますと、その通りなんですけど、ありますので是非参加くださいとしたら市民に伝わるかと思ったんですけど、そういう微調整もこちらでやるということですね。

○委員長（村田春樹君） よろしくお願ひします。

そのほか大丈夫ですか。

[「はい」の声あり]

○委員長（村田春樹君） では、この3問について、掲載するような流れでよろしいですか。

[「はい」の声あり]

○委員長（村田春樹君） 次に、F テーブル、17、18、19 奨学金の活用の周知。学力向上のために自習室の設置を。おみたんバスの帰りの時刻と合わせ、台数を増やしてほしいという内容でございました。回答のほうは、宮内委員大丈夫ですか。

○2番（宮内勇二君） はい。

○委員長（村田春樹君） もし、そのほか少しの訂正があるというときには、すぐに自分なり、もしくは議会事務局のほうに言っていただければ逐一直せるような形をとりたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

次にですが、令和7年度、市民との意見交換会報告書（案）をお開きください。

1ページ、目次のところなんですけれども、赤字で書いてあるところの意見に対する回答ということであります。9ページからですね。

9ページから見ていただきますと、先ほど皆さん方に見ていただいたものに対して、このような形で載せております。

回答が終わりましたら、参加者のアンケート結果についてということで、アンケートがきて終わるといような形の流れになっております。

このような形の報告書案なんですけれども、皆さんご意見あれば、なければこのままこのような形で進めていきたいと思うんですけれども。

谷仲委員。

**○13番（谷仲和雄君）** 今の説明の回答、違うところなんですけど、各テーブルの意見で、当日箇条書きで話に出たことどんどん書いていく中で、例えば中学校のテーブルで、具体的にどこどこというのが書いてあるところがあります。一般の不特定多数の人に公開するという形のホームページとかそういうところであると、なるべく固有名詞を直接表現するのはちょっとわたし的にはもう少し例えば具体的に言うと、中学校が荒れている（美野里中）という、このところが気になっています。これはあくまでもテーブルの話の中では直接話のやり取りしている中の書き方なんですけど、ただ公表するときにはこら辺なんかいい書き方、表現の仕方がないかなという。ただこれを見ただけで、尾ひれがついて話がまた違う方向に行くのか、それは故意ではないと思いますので、あくまでもこのメモって話しながら貼り付けていたので表現の仕方ですね、なるべく要は固有名詞とかそういうのは出さないほうがいいかなとは思いますが。

**○委員長（村田春樹君）** ありがとうございます。

ここは、しっかりと訂正させていただきたいと思います。

そのほか、皆さん大丈夫ですか。

[「発言する者なし」]

**○委員長（村田春樹君）** このような形の報告書（案）ということなんですけども、これを議運、全協で報告し、公表する形にしたいと思います。訂正も兼ねてということでやっていきたいと思っておりますので、皆さんそれでよろしいですかね。

[「はい」の声あり]

**○委員長（村田春樹君）** 須賀田議会事務局次長。

**○議会事務局次長（須賀田千恵子君）** 事務局からなんですけども、今、報告書の中で、各テーブルのご意見ということで書いてあって、美野里中とか省くというお話だったんですが、担当議員さんのほうがいらっしゃるので、自分の担当のところ、わたしのほうでも確認はしますが、担当議員さんの方にも確認をお願いしたいと思います。

それと、先ほどの意見交換会の回答一覧ということでつくらせていただいて、前回質問内容の確認を委員会ですべていただきまして、メールのほうで11月19日までに回答に不明な点があれば担当課へ行って調整していただいて、事務局までご連絡下さいということで進めていたところですが、こちら来週いっぱいまでぐらいにまとめないと最初の議運、全協のほうには間に合わないのかなと思っております。

**○委員長（村田春樹君）** そしたら、もし時間的に足りないというときには、初日の議運、全協ではなく最終日ということも視野に入れてということで、皆さんそういう形でも大丈夫ですか。

いろいろ皆さんの回答のほうをこれからまとめたりとかしなきゃいけないので、時間のほう間に合わなければ、12月定例の最終日の議運、全協で報告して公表するというような流れにもしかするとなるかもしれないということで、よろしいですかね。

早ければ初日に是非出したいと思うんですけど、そういったどっちかで大丈夫ですかね。  
香取委員。

**○7番（香取憲一君）** 極力早めをお願いします。

**○委員長（村田春樹君）** はい。

山崎委員。

**○5番（山崎晴生君）** 意見交換会の報告書の（案）のほうで今思ったんですけど、開催の内容とか、参加者、意見のまとめ、こういう意見があったよということがあって、アンケート結果についてというところまであるんですけど、議会として活性化特別委員会でも議会として最終的に意見交換会をしてどうだったかというような、総合的な評価みたいところは入れなんでしょうか。

**○委員長（村田春樹君）** そこ重要ですね。

**○5番（山崎晴生君）** 前回、全協か議運か何かにあげたやつには意見交換会終えてという項目が入っていたと思うんですけど、そこを削った理由はなんですか。

**○委員長（村田春樹君）** 抜けてしまったところなので、それについて皆さんと協議しなければいけないところがございます。すみません、ありがとうございます。

この回答を踏まえた上で、市民の方から質問いただいて、回答をいただいた上で議会として今後1月に市長に対して意見をまとめて提案をしていきたいような形の流れの説明というか、文言を入れておきたいとは思いますが、整理しないといけないんですけど。

山崎委員。

**○5番（山崎晴生君）** 報告書は報告書としてだと思えますし、提案するなら提案書を別々につくらないとならないかなというふうには思います。この報告を踏まえて市民からの意見等々、議会は開催した中で、こういうところを市に提案しますというようなものがまた別に必要かなとは思いますが。なので、現在提案書はないので、なんとも言えません。

**○委員長（村田春樹君）** 今回報告書として、質問に対する回答の報告になるので、提案書としては別に作成するのを12月定例のときに集まって、案としてお示ししながら話し合っ進めていきたいと思っているんですけども、各テーブルの皆さんの中で、今回いただいた回答をもとに、どういったことを市長、執行部に対して提案をしていくのかというところも皆さんと協力しながら考えていければと思うのですが。

香取委員。

**○7番（香取憲一君）** 今の件について確認なんですけど、我々この活性化委員会は特別委員会でありますので、議長から命題を受けてこの特別委員会が発生しているので、みんなで頑張っているんですけど、提案ということは直接ということではなくて、我々が特別委員会設置されてそれについていろいろ勉強して協議をして、それを整合性を持って我々が頑張っ内容を突き詰めたので、議会全体としてフィードバックをして、議会として執行部に提言しますよという形だっという、それを確認したいんですけど。

そこをしっかりと確認というか道筋を改めてつけないと、ここには半分しかいないので、そこらへんの共有はしっかりしてやっていかないと、またこういう意見が出てくると思っています。

以上です。

**○委員長（村田春樹君）** ありがとうございます。

谷仲委員。

**○13番（谷仲和雄君）** 質問の内容があっ、対応部署で答えが返っきて、それで多分内容によっては活性化は特別委員会で報告会をやって、今度議会としてという、提案書を提出するのはあくまでも議会の長が提案なんですけども、各分野の専門的のところは常任委員会というところが出てくるのかなと。要はこの回答出ていますよね。この回答に対して専門的な

ところで執行部とこういう回答になっているけども、なぜこういう回答になるのかとその理由を聞いたり、現状聞いたり、それを踏まえた上で議会としてその話をしている所管の委員会としてやり取りをとというような、そういう過程になってくるのかなと思います。言葉尻の修正とかは別にして、本質的なところはなぜそういう状況になっているのかというところからいろいろ執行部と詰めるときに、その委員会、常任委員会というところが議会として窓口。それをまとめたやつを今度は議会として議長が市長に、そういうプロセスになるかと思いますが他にも他の方にいろいろご意見聞いていただけたら、お願いします。

**○委員長（村田春樹君）** ありがとうございます。

今、谷仲委員のほうから話あったんですけども、今までの議会報告会があったときの流れは確かそのような流れだったんですね。

谷仲委員。

**○13番（谷仲和雄君）** 前回のフォーマットとしては、報告会での内容を執行部に投げて、市の現状、こういう形の回答を載せて、この回答に対して提案書という形はやっていないですね。多分やっていないと思います。そこらへんは多分やっていれば事務局に記録残っていると思うんですけど。こういう回答ですというところで、あくまでも報告を載せるという、そういう形式ですね。報告会の形式自体が今回の形式ではなくて、各会場皆さん市議会の活動をお知らせしたあとの意見交換というあれだから、特に今回のテーマ別という内容ではないので、そういうところで質問に対して現在はこうというところの回答の報告、そういう位置付けですね。

今回は、今までやっていたのとは形式もがらりと変わっているので、前回と同じにする必要はないし、あくまでも提案という形でもっていければいいのかなと思っています。そのほうが自然かなと思います。

**○委員長（村田春樹君）** わかりました。ありがとうございます。

そうすると、一度先ほど言っていた回答に対して、執行部のほうから訂正的なものをもらったあとに、実際ほとんど文教の常任委員会の内容になるので、文教の常任委員会のほうに投げさせてもらうという形になるんですかね。

それで、常任委員会のほうから提案書ということで作成してもらうような流れになるのかと思うんですけども。

山崎委員。

**○5番（山崎晴生君）** 提案書を文教につくってもらうのは違うかなという感じがして、提

案書をこの特別委員会で作ってそれを文教のほうで精査してもらうのか、文教で全部つくってもらうのはかなり負担、事務局がつくるのかもしれないですけど、この委員会が中心でやっていることを文教に投げるのもどうかと思います。

○委員長（村田春樹君） 提案書も含めてこちらで作らせていただいて、それで文教に確認していただいて。

○議長（長島幸男君） 違う、全協でこういう形で、執行部にも全体的に共有しないと。

○委員長（村田春樹君） そうですね。では、そういう流れで大丈夫ですかね。

谷仲委員。

○13番（谷仲和雄君） そのような形であれば活性化委員会でこういう形をつくって、常任委員会のほうにこういう形でチェックしてもらって、最終的には全員協議会で議論すればいいのかと思います。あまり複雑に考えなくても思いました。

○委員長（村田春樹君） それでは、そのように進めていきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

では、意見交換会についてはこのような形でよろしいですか。

[「はい」の声あり]

---

◇

## 2. その他

○委員長（村田春樹君） それでは、その他に移ります。

前回の議事録のほうを見ていただくと、これからの小美玉市議会の議会活性化をはかるためのいろいろなテーマがあると思うのでお話をさせていただきました。皆さまのほうで、何かこういうふうに進めたいとか何かご意見があればお願いしたいんですけども、どうでしょうか。

鬼田委員どうですか。

○1番（鬼田岳哉君） もし、続けるというか、継続していくのであれば施設活用のほうにわたしは焦点を当てたいなと思っています。

以前、山崎議員からの再質が今回自席で答弁できるようになったような形であったり、そういった議会というものを活用できる方法をどう考えていけばいいのかなという部分がもしもできたら面白いかなと。

例えば夏休みに熱中症対策じゃないですけど、議会を勉強会の会場にしているというような自治体も何個かできはじめたので、そういった議会の繋げるとか、アピールするという、そういうのも活用できるのかという、そういったハードをどう活用したら市民に近づいていけるか

などというところをひとつやってみたら面白いかなと考えております。

**○委員長（村田春樹君）** わかりました。

宮内委員。

**○2番（宮内勇二君）** 前回意見交換会の今後のスケジュールとか出ていたと思うので、令和7年しっかり終わったので、これより質を高めて議論して行って、このテーマでと絞らないでやって行って、その場で気づいた点でそれについてやっていけば、テーマについて議論していくという進め方のほうがいいのかなと思います。マイクが付いたということで、予算と決算も議場でやったらとかちょっとしたこととかを変えていければ、腑に落ちない部分が入ってから結構あるので、そういうところをちょっとずつでも変えていければいいのかなとは思っています。

**○委員長（村田春樹君）** ありがとうございます。

戸田委員。

**○3番（戸田大我君）** 正直考えてなかったんですけど、この委員会に入っていて思うのは、どうしても議会と市民との差というか、距離というか溝を感じるので、今回広報紙が刷新したことによって市民との距離が近づいていけるんじゃないかと思っはいるんですね。そういうことを主眼点にやっていくことがいいのかと思っはおりまして、あとはテーマについては議会活性化やっている自治体を見に行きたいなと思いますね。そういったのを見させていただいて、どのようなことを工夫してやっているのかということも参考に、そんな雰囲気を見たいなと思っはおります。

**○委員長（村田春樹君）** 内田委員。

**○4番（内田和彦君）** わたしも考えてなかったんですけども、市民にとって議員が何をやっているのか一番わからないことが、なんでこんなにいっぱい人がいるのかとか、透明さとか、そういうことをしっかりとアピールしていけるようなテーマとか、そういうことをしっかりやっていければと思いました。

**○委員長（村田春樹君）** 山崎委員。

**○5番（山崎晴生君）** 活性化なので、議員として議会の中でこうしたほうがいいよとか、今までの歴史とか、今までの慣例とかいろいろあるとは思っはおりますけども、それって議会議員でないと変えられない、議会が変えていくということが一番大事なんじゃないかなと思いますし、あとは自分が入ってから議員提案で条例をつくったりというところは経験もしていませんし、今、議会の中でハラスメント条例ですとか、全国でいろいろハラスメントが大々的なニ

ユースになっているというところであれば、しっかりとしたハラスメント条例とかというのを議会としても必要なんじゃないかと。じゃどこから出すのかというところと活性化からでもあげていいののかという感じもしますし、守備範囲というか、やろうと思えばいろんなことができると思うので、ひとつひとつ意見を出し合いながらやっていけばいいのではないかと思います。

○委員長（村田春樹君） 香取委員。

○7番（香取憲一君） やりたいことというか、希望することはあるんですけど、ちょっとその前に、もやもやしているところがあったので提案というか、みんなの機運を高めるというのもあるので、特別委員会は4年なんですけれども、ちょうど折り返しで2年、2年で半分きましたけれども、果たしてこの活性化特別委員会ということは意見交換会は無事に終わって、ある程度ほぼ一区切りというところまできていると思うので、ここで活性化委員会の在り方というのを一度きちんと総括というか、ほんとにこのあとに、みんなで盛り上げてやっていけるかということ一度立ち止まってみんなでそこを確認をして機運が盛り上がりこのまま続けようというふうにしてみんなが一度盛り上がると引き続きできるのであれば、わたしはいろいろやりたいことあるんですけど、みんなリンクしますけども、例えば、これは広報にもリンクしますけど、モニター制度、議会モニターに市民の方をピックアップしていろんなモニター的にやっていただくとか、あとは執行部と青少年の会が主催になっていますけど、市議会もバックアップしていますけど、子ども議会とかやっていますけど、あとは女性の力って大きいので女性議会とか、そういうふうにしてどんどんいろんな意見を活発に取り入れていけるような形にできていければいいかなとは思いますが、まずその前に、今いろんな意見出させていただきましたけども、一度総括をしてどうなのということをやったほうがいいのかと感じています。

以上です。

○委員長（村田春樹君） 香取委員。

○10番（鈴木俊一君） 何年か前だったと思うのですが、議会改革度ランキングで小美玉市がある程度上位に入っていたのがあったんですよね。議会改革度ランキング、先ほど戸田さんから出た視察とか言っていたので、そういう1位とか2位のところの議会活性化ランキング1位あたりを参考にしてもいいのかなと。あと茨城県の議会改革度ランキングで、茨城県議会も上位に入っていると思うので、そういったところも参考にさせていただいたり、茨城県議会でも土日休みの日に議会、休みの日も議会開いていたときもあったと思うんです。そういうのも成果を踏まえて土日に議会入れてというのもひとつできるのかなと思っていたので、そういう

ところ今みつくろって勉強もう1回するべきかなと思いました。

**○委員長（村田春樹君）** 谷仲委員。

**○13番（谷仲和雄君）** 議会というのは、言論の府という言われ方をします。平成28年に自由討議の実施要項というのができているんですけども、現状要項はあるけども自由討議という場がほぼないという。これ何で自由討議とか、議員間の自由討議が必要かという、結果に対する説明、議会としての決定はこうですという説明がきちんとできるようになるんですね。あくまでも今、常任委員会の議案の質疑にしても、特別委員会で協議しても、例えば委員会の質疑であれば、議員さんが執行部に対してやることがあります。その議員さんが執行部に対してやり取りがあります。そういうところで賛否を問う、表が割れた場合ね。全会一致の場合はというような形でやります。テーマによってはこの自由討議というのをどう活用するかというところを研究してもいいと思うし、これは先進事例をどういうふうに行っているかというのも調べてみるのも案だし、あとは議会からの政策形成という形でわたしが当選1回目のときに会津若松を、議会の基本条例をこれからつくりますというときに、議会からの政策形成サイクル、二元代表制を持つ議会において執行部と議会ですっきり話出たように、議員提案条例をつくれるだけの能力を兼ね備えるかというそういうレベルですね。茨城県議会が改革度ランキングで上位にきているのは、必ず年1本議員提案条例というのをやっていると思うんです。それは各勉強会プロジェクトチームをつくって年1本というような形でされてるかと思うんですけど、そういうところで以前市民の方から議会から条例をつくったらどうだという話も聞いたことがありますので、そこまで機能を高めていく、それにはどうしたらいいかというところが議会改革の本質のところかなと思います。

**○委員長（村田春樹君）** 真家副委員。

**○副委員長（真家 功君）** 皆さんの言うとおりになんですが、この議会活性化特別委員会というのはすごく幅広くて、個別というのがなくて、全てテーマが出るのが活性化委員会で検討するとなってくるので、今進めているものを完成形にして一段落したときに、さて次何やろうかというときには、まさに今皆さんが手をあげていただいたテーマを皆さんでまた検討していくということで、まずは全然違うことが今度検討されることになると思うのですが、非常に幅広いですよね。これを見ると活性化委員会休みがないのかなというのもあるので、ある程度ひとつずつ完成形ができれば、ちょっと休憩も入れながら、じっくり次のものを決めていく時間も必要かなと感じました。

以上です。

**○委員長（村田春樹君）** ありがとうございます。

いろいろ皆さま方のご意見いただきまして、ありがとうございます。先ほど谷仲議員が言っていたように、自由討議というものを実際使われていない。せっかくあるんだけど使われていない。一言で言うと今の現状自分たちにとって資質が足りないのかなというところもあると思いますので、資質向上のための研修というのはこれから何回もやっていかなきゃいけないのかなと。いろんな先進的な議会のほうに赴いて、いろんな研修を受けて自分たちの議会に持ち帰ってそれを実行していく。今までいい話は聞いてくるんですけども、それを持ち帰って実行できるだけの力がまだ自分たちはなかったのかなというところもありますので、条例を自分たちでいろいろつくりあげていけるような議会をつくれるような体制づくりをこれから必要だと思います。山崎議員が言っていたハラスメントの条例のほうも今一度、今の議運長のほうにも相談して話はさせていただいたんですけども、うまく前に進まないところもありますので、そういったところも進められるような体制づくりも必要ですし、時代の流れに沿ったような議会運営というようなことが大事だと思いますので、是非この議会活性化特別委員会の中で、取り上げていかなければいけないもの本当にいっぱいあると思います。

まだまだ皆さん言い足りないこともあると思いますし、わたしも例えばですけども、議会の中で、それぞれ皆さん SNS 活用している方いらっしゃると思うんですけども、小美玉市議会としても SNS を活用して市民の人に向けて情報発信をしていく。広報紙もありますけれども、常に SNS 等で発信できるような発信力というのもひとつ重要なのかなと思いますので、そういったところも今後皆さんと協議をしながら、進めていきたいと思うんですけども、皆さんに一人一人出してもらったんですけども、急に全部一気にやるというのも難しいと思うので、この中で皆さん話を出してもらった中で、今の出してもらった意見に対してこれすぐできそうだからやろうよというものがあれば、あとは少し今日聞いた皆さんの意見をもとに次回からこういうのやっていったらどうだろうかというのを次の委員会のその他で議論をして、改めて前進していくような形にするか、どちらがいいですかね。

取り敢えず今いただいた皆さんのご意見をまとめながら、次の委員会ときには報告書（案）のほうは出来上がって公表になると思いますので、一度執行部のほうに出す提案書のほうの案を作成して、その中にお示しして、そこからということによろしいですか。

[「はい」の声あり]

**○委員長（村田春樹君）** そのほか皆さんで何か大丈夫ですか。

[「はい」の声あり]

○委員長（村田春樹君） ないようですので副委員長にお渡しします。

○副委員長（真家 功君） それでは以上で、議会活性化特別委員会を閉会といたします。

ご苦労さまでした。

午後 2時25分 閉会